

平成27年3月23日

視 察 報 告 書

八街市議会議長 湯浅 祐徳 様

会派 公明党
代表 新宅 雅子

先進地視察の概要を、下記のとおり報告いたします。

記

1, 視察参加者

鯨井 眞佐子、川上 雄次、服部 雅恵

2, 視察期間 平成27年 1月26日(月) ~ 1月28日(水)
(3日間)

3, 視察先、及び視察目的

日程	視察地	視察内容
1月26日(月)	長崎県長崎市	① 長崎市、「しごと改革室」について ② いきいき地域サポート制度について
1月27日(火)	長崎県西海市	① 新事業起業者コラボ支援進事業について ② 「町づくり推進課」について
1月28日(水)	長崎県大村市	① 「大村夢ファーム」6次産業化の取組 ② 「道の駅」鈴田峠農園の見学

○ 主な、視察内容等

1、長崎市

市の概要

長崎市（ながさきし）は、九州の北西部に位置する都市で、長崎県の県庁所在地である。国からは中核市に指定されている。古くから、外国への玄関口として発展してきており。江戸時代は国内唯一の貿易港出島を持ち、ヨーロッパから多くの文化が入ってきた歴史がある。外国からの文化流入の影響や、坂の多い街並みなどから、日本国内の他都市とは違った景観を保持している。また、長崎県下最大の人口を持つ中心都市である。市域面積の13.1%である市街地に人口の約78%が住み、市街地の人口密度は、7,900人/km²と過密である。（ウィキペディアから）

2、視察会場 長崎市役所

3、対応者	長崎市議会、	議事調査課	宮本康宏	係長
		しごと改革室	山本 努	室長
		市民生活課	森 洋二	課長
		地域ふれあい係	松尾 香	係長

4、視察先調査事項の概要

①「しごと改革室」について

長崎市では市民ニーズの多様化、高度化するなか、効率的かつ効果的な行政サービスを求め、市長直属で室員6名からなる「しごと改革室」を立ち上げています。

その取り組みは、時代に合った、新しい仕事に挑んでいく「チャレンジ精神」の醸成を図り、職場マネジメント力の向上、組織経営・職場活性化の意識と環境づくりによる、市役所のめざす姿、求められる職員像を明記させると言う、真摯なものでした。

主な取り組みは、①「対話の促進」職場内の良好な人間関係の構築へ、全職場での職場ミーティングの実施、世代別オフサイトミーティングの実施、②「気づき・きっかけ」、職員一人ひとりが変化の必要性に気づき、行動を変える、きっかけを作る、まるかじり講座の開催、危機感情報ツールの作成。

③「マネージメント力の向上」は管理職が職場活性化する仕組みと環境整備と、
(行政経営研修の実施による) 経営幹部、管理職の向上

④「組織ビジョンの明示」世界都市・人間都市を実現するため、市役所組織と職員個人の成長をめざす(職員と組織の育成方針の策定)を行うなど多岐に渡る取り組みを行い、改善は当たり前との職場風土づくりによる、市役所のレベルアップに繋がっていました。

②「いきいき地域サポート制度」について

長崎市では、自治会は、地域コミュニティの核として、明るく住みよいまちづくりに積極的に取り組んでいる重要な団体として、自治会加入促進キャンペーンと自治会の重要性を周知啓発するための各種活動を展開していました。なかでも、「いきいき地域サポーター制度」は、まちづくり専門家、環境保全に関する研修会等への講師の派遣を始め、39名もの各種講師を派遣しており、自治会の地域活動に対する強力な支援策と成っていました。

長崎市でも、自治会加入世帯数は、社会情勢の変化や価値観の多様化等の要因により減少傾向にあるとの事でしたが、それでも地域に密着した1000の自治会があり、加入率は71%を超えていました。

5, 調査事項に対する会派視察目的

長崎市の「しごと改革室」は、市の職員出身の市長が市政改革へ向けて直属の機関として設けたもので、その先進的な取り組み、充実した改善提案などの内容の学習と市民協働の街作りに欠かせない、自治会加入促進の優れた取り組みに着目して、今回の視察先に選定しました。

6, 市政との関連性(視察地選定の理由等)

本市では若手職員の育成に取り組んでいますが、長崎市の職員力アップの様々なプロジェクト、職員の年間400を超える改善報告などや、区や自治会加入促進の先進事例は、本市にとって、参考になるものと考え選定しました。

7, 市政の課題等に対し参考になった点等

市役所、ワカルプロジェクトや職員提案制度(市役所はってん機構)、市っぽく手弁当会議、庁内報「なるほど・ザ・職員力」等の取り組みは、大いに参考になり今後精査して行きます。

長崎市役所が作る、自治会活動の手引きや、加入促進チラシのサンプルは大変参考になり、本市の3月議会で鯨井眞佐子議員が一般質問の折り紹介しております。

1、西海市

市の概要

西海市（さいかいし, Saikai City）は、長崎県西彼杵半島の北部に位置する市で平成の大合併でできた市である。

2005年（平成17年）4月1日に、西彼杵郡北部の西海町、西彼町、大島町、崎戸町、大瀬戸町の計5町が合併し、誕生した。

市役所は旧大瀬戸町役場に置かれ、他の旧町役場は「総合支所」となった。

2、視察会場 西海市役所

3、対応者 西海市議会、 杉澤 泰彦 副議長

議会事務局	平岡 博司	事務局長	さいかい力創造部	森 浩三	課長
政策推進課	坂本 章	係長	まちづくり推進課	中尾 祐次	係長
協働まちづくり班	入江 鷹信	主査	商工企業誘致班	久保 光平	主査

4、視察先調査事項の概要

①「新事業起業者コラボ支援進事業」と「町づくり推進課」について

西海市は平成17年4月に県北部の5町が合併して誕生、当時は人口34,521人であったものが、現在人口は29,943人と減少しており、「町づくり推進課」を中心に人口減少対策と地域活性化へに向けて真剣に取り組んでいました。

西海市では「集まれ、さいかい力」元気な町づくり推進事業として少子化、過疎化に負けない施策として、「地域おこし協力隊」の積極的推進や、「さいかい力支援事業補助金」や「元気づくり支援補助金」、「新事業起業者コラボ支援進事業」など地域活性化へ100人雇用推進や、企業誘致施策など総合的で積極的な取り組みを行っており、大変参考になりました。

5、調査事項に対する会派視察目的

西海市の農業者と商工業者の連携、新規事業を創出する取り組みなどの先進事例を視察先を選定しました。

6、市政との関連性（視察地選定の理由等）

「町づくり推進課」を設けて 農業の活性化、6次産業の育成、新事業起業者コラボ支援進事業の推進などに取り組んでおり、本市の課題解決への参考に成る視察地として選定しました。

7、市政の課題等に対し参考になった点等

地方創生の時代の取り組みとして、西海市の「町づくり推進課」を中心にした施策は、随所に積極的な工夫が見られ、中でも「新事業起業者コラボ支援進事業」「集まれ、さいかい力」「地域活性化へ100人雇用推進」や、企業誘致施策は本市でもすぐに取り組む必要があると感じ参考になりました。

1、大村市、民間施設見学

- 2、視察見学会場 「道の駅」鈴田峠農園有限会社
フルーツの里交流拠点施設、(有) シュシュ

視察先調査事項の概要

①「道の駅」鈴田峠農園の施設見学」と「大村夢ファーム」の6次産業化の取り組みについて

「道の駅」鈴田峠と「大村夢ファーム」は行政の力に頼るのだけで無く、民間の力で優れた地域の活性化、地産地消、6次産業化による多くの特産品作りに成功しており、協働のまちづくりの手本になる取り組みでした。

なかでも、地域農業の振興と生産者直売方式での町おこし地域に愛されるレストラン経営、豊富な6次産業の特産品の数々は圧巻でした。

また、農家のおばあさんが自分で作った農産物を直売所に持ち込み、自分一人でパソコンに入力、商品ラベルを印刷して展示するのに立ち会いましたが効率的なシステムに感銘を受けました。

添付資料

- ① 視察写真
- ② 視察資料



長崎市役所にて



西海市役所にて



長崎市研修会場



西海市研修会場



鈴田峠直売所



大村夢ホーム



道の駅「鈴田峠農園」



フルーツの里交流拠点施設、特産品



長崎市役所



西海市役所にて



長崎市役所、研修室



西海市役所、研修